



### まち 健康なまちづくり

町民のみなさんがそれぞれのライフステージにおいて、安心して暮らせる生活環境を整えるため、その体制づくりを進めていきます。

#### 日南病院と医療体制

日南病院は60周年を迎え、施設も建築から約50年が経過しています。特に設備をはじめとして改修工事が続いており、改築または新築等を検討する時期が到来しています。併せて制度の変更や地域医療計画の見直し、人口減少による医療体制の見直しなど、全般にわたっての再構築する時期と考え、新年度よりその検討チームを立ち上げて、計画推進を図っていきます。

#### 検診受診率の向上

令和4年度から検診の重点地区を設定し、保健師等による電話や家庭訪問活動を行っています。令和4年度の重点地区であった大宮地域では、訪問時に予約を決定するなど、受診対象者の約61%が受診するという結果につながりました。

新年度も引き続き健康寿命延伸のためにも、検診受診率の向上を目指した取り組みとともに、精密検査の必要な方に対しては再受診の働きかけを行い、疾病等の早期発見と早期治療につなげていきます。

### ひと 心豊かに生きる 協働のまちづくり

#### 部活動の地域移行

令和4年度は日南中学校のソフトテニス部と陸上部に部活動指導員を配置し、指導体制の強化や教員の負担軽減を図りました。新年度におきましては、バレー部・卓球部・吹奏楽部を加え、すべての部活動に部活動指導員を配置するとともに、部活動の地域移行に関する協議会を立ち上げて、取り組みを進めます。

#### 地域おこし協力隊

農業研修生を含めて、令和4年度は町内で8人の地域おこし協力隊に活躍していただいています。令和5年度には現在の隊員を含め22人を採用したいと思っており、新規隊員は14人を見込んでいます。

この中には、新たにインターン型の地域おこし協力隊員を予定しています。2週間から3ヶ月間、町内の事業所で体験をしてもらう仕組みです。これにより、現地を見て町を知ってもらい、理想と現実のギャップによるミスマッチを抑制し、本人がより具体的なイメージを持つことができた段階での採用が可能となります。積極的に周知を行い、地域や事業者等とのマッチングを進めていきます。

### 地域活動の支援

昨年から議論してまいりました地域活動支援交付金の効果については、コロナ禍ではありますが、各地域で集まりを継続していただくなど一定の成果があったと思います。

また、検討事項でありました地域の集会所支援については、1集会所あたり年間2万4千円を交付することとしました。アフターコロナにおいては、より活動を拡大していただき、地域力をさらに高めていただくことを期待しています。

#### 携帯電話不感地域の解消

デジタル社会の推進にあたり、懸案事項である携帯電話の不感地域解消については、昨年アンケート調査を実施しました。対象地域が多く、まずはいずれの携帯電話会社の電波も入らない地域を優先し、年次的に解消を進めます。

#### グリーンドリム計画

国の「2050年カーボンニュートラル」宣言を踏まえ、日南町も令和3年に「温室効果ガス排出ゼロを目指す自治体」として宣言しました。現在、新たな環境基本計画である「グリーンドリム計画」の策定を進めています。策定後はこの計画を目標年度に向けて推進していきます。政策的な内容は具体策を順次制度化し、着実な展開を図ってまいります。

#### 観光振興と移住定住の促進

山里Roadにちなんが発足してから約1年が経過し、理事長を中心に組織体制は整いつつあります。観光振興については、コロナ禍が続く中ではありましたが、感染予防対策を講じながらホテルやイチヨウのイベント等を実施してきました。

移住定住分野については、移住されるみなさんや町内の若者などの定住に向け、暮らしの充実が求められています。今後はこうした課題解決に向け、芝生化への取り組みや中心地域整備計画を通して住みやすいまちづくりを推進し、転入拡大と転出抑制につなげていきます。

#### たったもカードの広がり

たったもカードは発行から1年が経過しました。利用額は2月末時点で電子マネーと各種ポイントを合わせて約3億3千万円でした。業務効率や住民サービスにも効果が上がっています。

今後も様々な活用を検討し、地域内経済の循環とデジタル化による利便性の向上を進めていきます。

### 結びに

新年度が、少しでも明るい未来が見える年となるように全力で邁進することを約束して、令和5年度にあつたでの施政方針とさせていただきます。

広報掲載にあたり、一部抜粋・編集しています。全文はホームページでご覧いただけます。町ホームページ→組織から探す→町長→施政方針

